

関連項目：教育活動プラン①、⑥

太田っ子まつりで自尊感情を高めよう！～思いあい 高めあおう～

目的

本校は、人権教育を中心に据えた教育活動を展開している。学級集団を基盤にし、一人一人の子どもが活かされる活動を支援する中で、子どもが認められる場や達成感を味わえる場を設定して、個々の自尊感情を高め、お互いを思い合う人権感覚を磨く体験を積み上げようと考えている。

内容

● 「太田っ子まつり」スローガン

「思いあい 高めあおう！めざすは なかまづくり！～自尊感情・人権感覚・規範意識を高める～」

● 内容について

毎年、11月中旬の土曜日に行い、保護者にも大々的に公開する大きな行事である。原則として学級単位の出し物とし、様々な教育内容をつなぎ、教師の指導のもと、子どもの自主性・自発性を生かした話し合いにより内容を決定していく。子ども一人一人が役割を持って主体的に取り組んだり、完成や発表の際に達成感や満足感を得たりすることができるとともに、学級としてのまとまりが感じられるような内容をめざしている。

さらに、「太田っ子まつり」の取組を通して、子ども自身がどのように変容していったか、教師が記録をとるとともに、子ども自身もしっかりふりかえり、自分を見つめながら活動に取り組んでいけるような支援を大切にしている。

各学級の催しや「太田っ子まつり」までの取組等について、保護者に学年便り等を通じて早くから伝えるようにしていき、パンフレットにも自分の頑張ることや見てほしいことを書いて保護者への案内状としている。活動後には、保護者から感想をもらうなどして子どもたちの頑張りを賞賛する場としている。



発表活動



表現活動



P T A 食べ物バザー

● 児童の様子「Aさんの場合」

今年で13回目となった「太田っ子まつり」は、天候にも恵まれ保護者や来賓の方々にも多数参加していただき、盛況のうちに終えることができた。どの学級でも、クラスの気になる児童（学級の中心に据える児童）に視点を当てて、その子の変容を期待して意図的に様々なアプローチを仕掛けていた。

集団活動が苦手なAさんに対して、自然な形で表現活動の練習に参加できるようにし、無理なくコミュニケーションを図ることができた。しかし、残念ながら当日は参加することができなかった。今回は、表現活動が上手にできるようになったことを賞賛し、自信がもてるように働き掛けてきたが、観客の前で一緒に活動することはできなかった。後日、他校との交流の場では、みんなと一緒に表現活動を披露することができ、その時の録画を母親にも見てもらった。その頃から、友達との交流が増えたり、遅刻が減ったりするなど、少しずつ集団の中でのAさんの様子が好転してきた。

成果

「めざすは なかまづくり」の大テーマに向けた、練習や準備、当日の活動を通して、多くの子どもたちが「みんなでひとつのものをつくり上げる楽しさや喜びを感じた。」「友達と力を合わせて最後までやり遂げることができた。」「活動を通して自分や友達の良さや頑張りに気づけた。」「すてきな学級の取組だった。もっと素敵な学級にしたい。」等の感想が持っていた。